

四校リーグに思う

三回生 川本賢二

みなさんお元気ですか。愛知一中と旭丘高校のバスケットボール部OB会がドッキングして数年たちました。そこで現役選手を育てるべき四校リーグの生い立ちを紹介します。

昭和二十三年四月、愛知一中は愛知一高になり、秋には一高と市三が合併して旭丘高校が誕生した。愛知一中時代大勢の先輩に指導を受けていた愛知一高のメンバーは、旭丘・明和・菊里

向陽高校の四校に別れることになった。この時、四校でそれぞれ切磋琢磨するようにと、田中三郎氏から、「楯」が贈られた。昭和二十四年の夏に第一回の四校のリーグ戦を行った。その秋には菊里が県大会で優勝、第四回の国体（東京）に出場した。翌年はこの四校がそろってベストエイト以内で活躍した。

当時の練習は基礎・基本を大切にしパスとフットワークに時間をかけた。得意の戦法はパスアンドランのカットイを主体にしたオフフェンスとマンツーマンディフェンスでゲームを構成していた。ルーズボールとりバンドボールは絶対に負けないのが信条であった。これが田中三郎氏（ターサ）のバスケットボールだと思う。ディフェンスは天下一品であった。「求道求心」といった感じである。

OGに守られ約四十年間も続いってきた。しかしここ十数年間はターサひとり世話していただいている。来年は四校リーグも四十周年を迎えようとしている。このあたりで「田中杯」ぐらいにして、四校のOB・OGで四校リーグを育てる時期ではなからうか。四校各校のOB会長のご尽力で現役選手を育てる四校リーグにして、田中三郎氏に恩返しをしたいものだと思います。みなさんのご健勝を心よりお祈りし、よろしくご協力をお願いいたします。

第4回新年会のお知らせ

恒例の新年会を下記の要領でとり行います。是非御参加下さい。

愛知一中・旭丘バスケットボール部OB会
会長 岩城 新
連絡先 服部 保孝
TEL<0586>45-0858

記

- 1月2日(土) 於:旭丘高校 鮫光館
- 12:00 OB対OB戦
- 13:00 OG対現役戦
- 13:50 OB対現役戦(ハーフタイムを利用して超OB戦(35才以上)を行います。)
- 15:20 総会・パーティ

- 当日受付にて、OB会年会費(1口1,000円)とパーティ代(1,500円)を集めます。OB会年会費については、就職された方はなるべく2口以上お願いいたします。また都合のため当日出席できない方も同封の振込用紙でOB会費はぜひ納入して下さい。
- 出欠ハガキを12月20日迄に御投函下さい。

昭和49年から始まった1月2月の新年会は多くのOBと、それ以上に顧問の先生方の尽力によって今回で14回(一中と合同して4回)を数えることとなりました。しかし学校の管理運営上の様々な問題(5頁参照)より、年末年始の休業中の学校施設の利用は避けて欲しいという話が昨年よりありました。今回も学校側へ、無理は承知で岩城会長自らお願いにあがり、今回限りということで1月2日の開催にこぎつけました。

昭和64年度からは現行のような正月の旭丘を利用した新年会の開催は断念せざるを得ない状況です。

一人でも多くのOBが参加でき、かつ現役諸君の励みになるOB会総会の時期や内容についてOB諸兄の献知を、同封葉書にてお寄せ下さい。

愛知一中・旭丘バスケットボール部OB会

会報

第6号 昭和62年12月6日発行

愛知一中・旭丘バスケット部OB会 会計報告

1. 62年度決算報告(昭和61年10月1日～62年9月30日)

収入の部		支出の部	
年会費(203名分)	413,500円	通信費	100,040円
利息	4,978	印刷費(会報など)	116,750
前年度繰越金	474,223	事務費	5,116
		会議費	19,620
		事業費(新年会補助)	34,686
		現役補助(合宿差入・エフホーム)	37,000
		名簿作成準備金	250,000
		繰越金	329,489
合計	892,701円	合計	892,701円

昭和62年新年会 収入 会費(58名分)	87,000円	支出	121,686円
OB会より	34,686		

2. 63年度予算案

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	329,489円	通信費	150,000円
年会費(2,000円×200人)	400,000	印刷費	120,000
利息	4,000	事務費	20,000
合計	733,489円	会議費	20,000
		事業費	50,000
		現役補助	100,000
		名簿作成準備金	150,000
		繰越金	123,489
		合計	733,489円

3 定期預金の部

62年度名簿作成準備金	250,000円
63 // //	150,000
合計	400,000円

愛知一中・旭丘高校バスケットボール部OB会規約

- 第1条 本会は愛知一中・旭丘高校バスケットボール部OB会と称する。
- 第2条 本会は会員の親睦をはかるとともに母校バスケットボール部の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会の事務局は「名古屋市東区新出来町5-34 旭丘高等学校バスケットボール部顧問」に置く。
- 第4条 本会会員は次の者とする。
1. 愛知一中・旭丘高校卒業生で、在学中にバスケットボール部に在籍した者で、本会の趣旨に賛同する者。
 2. 歴代顧問、および之に準ずる者を特別会員とする。
- 第5条 本会は次の役員を置く。
1. 名誉会長 1名
 2. 会長 1名
 3. 副会長 2名
 4. 会計 2名
 5. 会計監査 2名
 6. 相談役 (歴代会長、歴代顧問の代表)
 7. 幹事 3～5年次の代表者より1名
- 第6条 役員は役員会で選出し、総会の承認を得て決定する。役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 第7条 各卒業年次に1名の年次代表を置く。
年次代表はその年次の会員への連絡等にあたる。
- 第8条 本会は次の事柄を行う。
1. 行事 ・総会(年1回 1月2日)
・四校リーグ 会員の懇親会
 2. 会員名簿、部誌、会報の随時発行
 3. 母校バスケットボール部への後援
 4. その他、本会の目的を達するに必要な事柄
- 第9条 本会の経費は会費および寄付金を以って充てるものとする。会員は年会費1口1,000円を1口以上納入するものとする。ただし特別会員は会費を免除する。
- 第10条 本会の会計年度は毎年10月1日にはじまり翌年9月30日に終わる。
- 第11条 この規約の条項の変更は、役員会の議決を以って、総会の承認のもとに行うこととする。
- 第12条 この規約は昭和60年1月2日より施行する。



役員 ()内は卒業年次

名誉会長	柴垣芳太郎	(一中60)	幹事	山田正秋	(一中60)
会長	岩城新	(旭丘7)	〃	伊藤求	(旭丘8)
副会長	河地一宏	(旭丘9)	〃	鈴木啓二	(旭丘10)
〃	服部保孝	(旭丘25)	〃	松浦裕	(旭丘13)
会計	丹下雅博	(旭丘27)	〃	中村豊	(旭丘19)
〃	近藤耕司	(旭丘29)	〃	小林利行	(旭丘23)
会計監査	小森治雄	(一中62)	〃	服部敦	(旭丘29)
〃	島田芙樹	(旭丘2)	(会計補佐) 幹事	斉場実	(旭丘32)
相談役	田中三郎	(一中65)	〃	野村育徳	(旭丘33)
〃	伊藤圭一郎	(旭丘1)	〃	長坂啓史	(旭丘34)
〃	島田芙樹	(旭丘2)	〃	大城誠	(旭丘35)
〃	川本賢二	(旭丘3)	〃	加藤茂和	(旭丘35)
〃	大山隆久	(旭丘5)	〃	稲垣佳子	(旭丘35)
〃	荒川宏	(前顧問)	〃	吉原基	(旭丘36)
〃	松下一郎	(現顧問)	〃	高原玲子	(旭丘37)
〃	近藤仁司	(〃)	〃	林靖訓	(旭丘38)

近況報告

男子顧問 近藤 仁 司

(1) 現役の状況

十一月一・三日に名北地区の新人戦があった。今回も成績はよくなかった。二回戦に勝てば、シード校になれるのだが、その二回戦の壁が厚い。最近はどうしてもシード校に勝てない状況が続いている。

一回戦の春日丘戦では、気のゆるみから許した十点差をひっくり返しての勝利、二回戦の千種(名北二位)戦では、キャップテン、ポストが五ファウルで退場になりながらも善戦し、今年のチームは期待が持てると思った。しかし、大会が終わったら九人いた二年生のうち七人が引退である。新人戦が終わったばかりなのに、もう新チームで練習をしている。新チームは二年生が二名、一年生が十六名の計十八名で、一八三cmが一番高く、一七〇cm以上が四名しかない背の低いチームである。スピードと気迫の要求されるチームだと思っている。

この数年、引退するのが年々早くなっている。十一月の新人戦で、もう大多数の二年生が引退していく。残る二年生の数がだんだん少なくなってきた。その原因は、大学受験の影響が大きい。これだけ毎年制度が変更になつては、生徒にとって

は不安が募るばかりである。早期引退の傾向は、バスケット部だけではなく。早いところは二年の夏休みで引退してしまう部もあると聞く。同級生がどんどん引退している。家で親には『部活をやめて、勉強しろ』と言われる。予備校からは、ダイレクトメールで危機感をふきこまれる。これでは不安にならないのが不思議なくらいだ。部活を続けるよう指導するが、無理やりやらせたときのやる気のなさが他の部員に与える影響を考えると引退させた方がいいとも考えられる。この時期になると、この葛藤と自分の無力さに悩んでいる次第である。

(2) 今後の試合予定

一月上旬 AZA定期戦

(三校リーグ)

瑞陵にて

一月十五・十七・二十四日

名北選手権 愛工・明和

市工芸にて

(3) AZAバスケット定期戦

(三校リーグ)

夏にはOB会の協力で盛大に四校リーグをやっていますが、実は冬にも定期リーグ戦をやっております。三校とは、A旭丘、Z：瑞陵、A：熱田であり、毎年一月五・七日の当番校の都合のよい日にやっております。歴史的にも古く、もう発足の経緯も詳しくは分らない状態です。OB諸氏の中に発足の経緯を知ってみえる方

がおられましたら、御一報いただければ幸いです。現在は、男女ともにリーグ戦を行い、総合優勝権を争奪するという形式でやっております。なお、昨年度の総合優勝は旭丘で、現在楯は旭丘にあります。今年度の当番校は瑞陵で、日程はまだ未定ですが、新年会の時にはお知らせできると思っています。是非応援に来て下さい。

(4) 一月二日、新年会に対する学校の意見

『十二月二十九・一月三日の年末年始の特別休業中の学校施設の利用と、現役生徒の参加を御遠慮願いたい。ただし、新年会を否定するものではない。』が、学校の意見です。理由は次のとおりです。

- ① 校舎・施設の管理上の問題。
- ② 現役生徒が事故を起こしたときの責任問題。
- ③ 教職員が勤務を要しない日である。

④ 現役生徒が参加したがらない。十年以上続いた新年会ですが、学校・教職員・現役生徒のことも考えて、ぜひとも一月四日以降に日程を移すか、一月二日であれば、校外の会場での、総会と新年会だけにしていただきたく思います。よろしく、お願いいたします。

回生(昭和)	年卒	会員数 男 女	会 費 (納入者数)	住所不 明者数	回生(昭和)	年卒	会員数 男 女	会 費 (納入者数)	住所不 明者数	回生(昭和)	年卒	会員数 男 女	会 費 (納入者数)	住所不 明者数
一中	60 (12)	5	2,000 (1)		旭丘	7 (30)	10 8	7,000 (2)	2	旭丘	25 (48)	19 6	7,000 (4)	7
	61 (13)	5 (8)	10,000 (4)			8 (31)	13 3	9,000 (3)	5		26 (49)	13 (1)	3,000 (2)	3
	62 (14)	5 (2)	2,000 (1)	1		9 (32)	7 4	9,000 (4)			27 (50)	11 7	6,000 (4)	1
	63 (15)	7 (6)	2,000 (1)	1		10 (33)	8 10	6,000 (3)	2		28 (51)	13 6	12,000 (6)	4
	64 (16)	5 (2)	3,000 (1)	4		11 (34)	2 5	6,000 (3)	2		29 (52)	11 6	15,000 (8)	
	65 (17)	12	22,000 (6)			12 (35)	9 8	1,000 (1)	5		30 (53)	10 11	22,500 (11)	1
	66 (18)	10 (3)	6,000 (2)			13 (36)	17 9	14,000 (8)	3		31 (54)	14 7	4,000 (3)	5
	67 (19)	11 (3)	6,000 (3)	1		14 (37)	11 9	6,000 (2)	4		32 (55)	12 10	14,000 (8)	2
	68 (20)	13 (1)	2,000 (1)	2		15 (38)	21 (1) 5	14,000 (7)	3		33 (56)	10 8	8,000 (4)	3
	69 (21)	14	9,000 (3)	2		16 (39)	19 8	12,000 (5)	2		34 (57)	13 5	9,000 (6)	
	70 (22)	10	3,000 (2)	1		17 (40)	14 7	8,000 (5)	7		35 (58)	9 12	17,000 (10)	
小計		97 (25)	67,000 (25)	12		18 (41)	16 (1) 6	11,000 (5)	6		36 (59)	14 10	9,000 (8)	
旭丘	1 (24)	2	3,500 (1)	1		19 (42)	21 13	14,500 (7)	5		37 (60)	6 7	7,000 (7)	1
	2 (25)	1 1	8,500 (1)	1		20 (43)	18 (1) 5	10,500 (5)	5		38 (61)	19 10	6,000 (6)	
	3 (26)	8 5	10,000 (4)			21 (44)	13 7	9,000 (4)	2		39 (62)	8 14		
	4 (27)	11 (1) 9	12,500 (6)	3		22 (45)	10 6	2,000 (1)	4	小計	471 (5)	268	346,500 (178)	100
	5 (28)	10 7	14,500 (6)			23 (46)	15 6	6,000 (3)	3	総計	886 (30)		413,500 (203)	112
	6 (29)	10	2,000 (1)	3		24 (47)	13 8	11,000 (4)	5	(注) 会員数の()は故人の数				

役員会報告

11月7日、小森(一中62)田中(一中65)両先輩以下15名の役員が集まってOB会の運営について活発な話し合いを行いました。その内容を報告します。

(1) 役員改選について

今年度で役員の任期(2年)は終了です。そこで、副会長の笹山氏(6)が河地氏(9)に交替するほかは再任、新たに大山(5)、近藤(現男子顧問)両氏に相談役を、そして服部(29)加藤(35)稲垣(35)高原(37)林(38)の五名に幹事をお願いすることを提案します。総会で御承認下さい。2人の女性幹事を迎えて、OGの意見もどんどん反映させていきたいと思えます。

(2) 現役の援助について

今年度は現役へユニフォームの補充として3万円(6着分)の援助を行いました。田中氏より現役の援助がOB会の最たる仕事であるという意見に皆同意、来年度は10万円の予算を組むこととしました。また金銭的な面のみでなく、もっと皆で鮫光館に足を運び、現役を叱咤激励しようという提案もなされました。

(3) 会費増収の方策について

60年 65万円(306名)
61年 44万円(223名)
62年 41万円(203名)

このように会費納入者が減少しています。また上記の表にあるように連絡がつかないOBが112名にのぼります。そこで幹事と年次代表の連絡を密にし、年次代表から各OBへ働きかけていただき、OB会活動を更に活発にしてゆこうということになりました。

(4) 新名簿作成について

64年度を目標に名簿の改訂を行いました。一中・旭丘110周年の「鮫光会会員名簿」を利用しつつ、作業を進めていきますが、3頁の住所不明のOBについて御存知の方は同封の葉書で是非連絡下さい。

(5) 四校リーグについて

一中・旭丘110周年記念事業の一環として、バスケット部の顕著な対抗戦活動(四校リーグ)に対して15万円の補助金を鮫光会よりいただきました。(他に陸上・ボート・ラグビー)四校リーグの一層の発展のために、このお金を「四校リーグ基金」とし、他の3校とも連絡を取り合い利用について考えてゆくことにします。

(6) 総会について

1頁にも述べたように総会の正月開催が厳しい状況となりました。卒業生の半分以上が地元を離れて活躍している一中・旭丘の特殊な状況をふまえた正月の総会は毎年100人近い参加者で盛況に続けてきましたが、学校側の厳しい状況を無視し続けることもできません。役員会では多くのOBの意見を聞き、64年度に向けて検討していくことになりました。

編集責任者

服部保孝(25) 丹下雅博(27)
近藤耕司(29) 服部 敦(29)

難問山積みの役員会。5時半に始めて、気が付いたら9時。さすがに現役時代の練習の鬼の集まりだけあって、議論にも熱が入りました。沢山の宿題が残りましたが、OB諸兄の意見を総会等でどんどんお聞かせ下さい。